

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	・新型コロナウイルス新変異株の今後の感染状況によるが、年明けの県民対象の県内旅行促進キャンペーンや、再開予定のGo Toキャンペーンに期待する。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの12月の販売室数は前年比34%減少とマイナスなのに対し、12月末時点で3月の予約室数は前年比92%増加とプラスに転じている。
	○	コンビニ（経営者）	・催事やイベントの増加により売上や来客数の増加が見込まれる。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	・今まで新型コロナウイルスを意識して外出しなかった周りの人々が外出し始めている。やや良くなる、と選択したが、売行きについては年末年始で来客数が多いこともあるので、年始の忙しさが終わった後はどうなるか分からないところもある。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	・一旦新型コロナウイルスの感染が落ち着いたので来客数が増えてきているが、また感染が増え始めているので今後の対策次第で、景気も変わっていくとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の状況にもよるが、しばらくは現状が続くとみられる。
	□	スーパー（販売企画）	・第5波は落ち着いてきたが、新型コロナウイルス新変異株で再び警戒感が強まっているように見受けられる。来客数減少はまだ続くと予想される。
	□	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数は徐々に増えていくと考える。そのため、人流はこれ以上活発にはならず現状が維持されていくと判断する。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は緊急事態宣言解除の影響か、客の出が良い印象を受けている。年末ということもあり、少し売上が良くなっている。このように今後も売上が増えてくれたら良いと考えるが、状況はまだ様子見だとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・変わらないと答えたのは、分からないからである。政策次第かとみている。自然に景気が回復するとはみていない。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・先の宿泊予約は伸びていない。観光客は新型コロナウイルス新変異株への懸念やGo To Travelキャンペーンの再開が明確に決まったことで旅行控えている。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響で、個人住宅や投資案件に対する投資意欲が低下しているとみられる。
	□	住宅販売会社（役員）	・例年、1～3月は年度末でもあり好調に推移するが、県内の新型コロナウイルス新規感染者数が増えつつあるので心配である。
	▲	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が徐々に拡大傾向にあるため、客足が止まらないか心配である。
	▲	コンビニ（店長）	・ここ数年景気に影響を与えている新型コロナウイルス感染が下火になり、景気が回復してきているが、ここに来て新型コロナウイルス新変異株での再流行の兆しがみえているため、これから2～3か月先の見通しとしてはやや悪くなると判断している。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が増えつつあり、悪くなるとはみているが踏みとどまってほしい。
	▲	観光名所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況で予約のキャンセルが出始めている。
	▲	その他サービス [レンタカー]（営業）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、旅行需要の落ち込みが予想され個人受注は鈍化している。既に年末年始の予約キャンセルが発生しており、厳しい状況は続いている。
	×	商店街（代表者）	・現在まだ新型コロナウイルス感染が拡大中で、落ち着いたと思いきやまた新型コロナウイルス新変異株が出て、皆大変厳しい状況に陥っているとみている。早く新型コロナウイルスが終息しないと経済全体に悪影響を与えられる。
	×	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・このところ、新型コロナウイルスの感染者数が倍々増えて、リバウンドで1日800名を越す予想も出て、1月以降の予約キャンセルが予約の50%まで増えている。また、食材の値上がりで、売価を上げざるを得ないが、客は値上げには厳しく、なかなか値上げできない状態にある。

企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—
	○	建設業（経営者）	・5000万円、1億円、2億円級案件の商談が具体的に進んでいる。
	□	窯業土石業（取締役）	・売上に大きな変化はないとみられるが、原材料の値上げを価格転嫁できず、今後収益を圧迫する。また、新型コロナウイルス新変異株による第6波の影響が懸念される。
	□	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては、石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化するが、大型物件が終わった宮古島では落ち込みが大きい。民需ではホテル関係が出ている。小笠原諸島の海底火山噴火で発生した軽石の影響で11～12月と稼働停止となっていて、今後の更なる影響が心配される。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせたなかで、米軍基地の大規模クラスターが発生して新変異株の広がりが懸念される。さらに、全国ネットのニュースでも放送されたことで、再び観光産業へのダメージを危惧する県内企業もあり、販促活動を見直す動きがある。
	□	会計事務所（所長）	・物価の上昇などが、生活面にじわじわと影響すると予想している。
	▲	食料品製造業（役員）	・新型コロナウイルス新変異株による感染者が今後も増加することが予想され、消費活動がまた減速する心配が出てきている。
	×	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルス新変異株感染者数の増加、米軍基地内でのクラスター、年末年始の人の移動による更なる新規感染者数増加で第6波の兆しがみえつつある。また、北米の港の混雑による供給不足や燃料費の高騰に伴う物流費の増加で商品価格の値上げが発生する可能性がある。一部、報道でも精肉系大手メーカーが上記を理由に商品の値上げを発表しており、今後その他でも値上げのおそれがあるため、消費の落ち込みが懸念される。
雇用 関連  (沖縄)	◎	学校〔大学〕（就職支援担当）	・観光と航空関係で人の動きが継続的に増加するとみられ、消費活動が活発になり、企業の求人も増えると考ええる。
	○	人材派遣会社（総務担当）	・年末に向けて商業施設の人の動きは活発になり、景気が少しずつ良くなりそうである。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・年間の月別求人数動向を参考にすると、2月を谷間として1月と3月は今月よりも求人数が増えると予測している。現在の新型コロナウイルス感染状況が悪化すると減少に転じる可能性もある。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、観光の復調や、景気対策の結果、ホテル、宿泊施設業界では採用活動の再開、求人数の増加が見込まれる。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの影響で採用を控えていた企業より、新年度は新卒の採用を再開、採用数の増加を検討しているという話が複数ある。来年3月からは選考試験も始まるため、今年より多くの求人数が来ると考えている。
	□	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼に対して、人材不足が恒常的に続いており、せっかくの依頼が売上増加になかなか結び付かない。少し良い傾向としては、人材不足もあり時給アップに応じる企業が増えてきている。
	□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再度増加傾向にある。
	▲	—	—
×	—	—	